

【大学・専攻等名】

京都大学・霊長類研究所

【事業名】

人類進化の霊長類的起源の解明に向けた若手研究者育成国際プログラム HOPE

【事業概要】

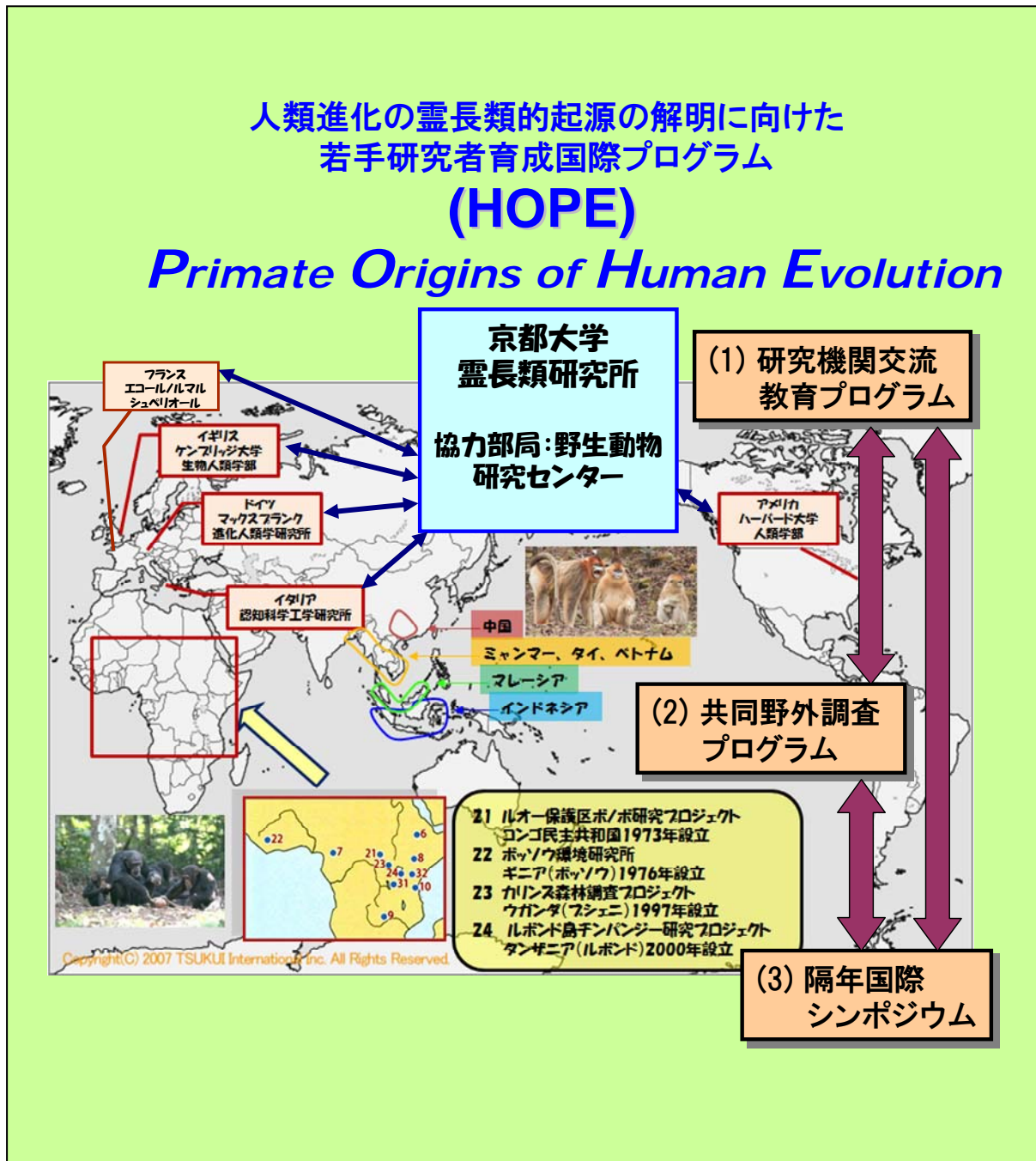
本事業の略称である”HOPE”とは、Primate Origins of Human Evolutionの頭文字のアナグラムである。人間の霊長類的起源を探るために、これまで行われてきた心(認知科学・脳科学)、体(形態学・古生物学)、社会(社会学・生態学)、ゲノム(分子生物学・生理学)の4つの領域の研究を交差させ、霊長類の進化とヒトおよび人間性の起源をさぐる総合的な研究を進める。さらに、近年絶滅の危機にさらされている研究対象であるヒト以外の霊長類の野生保全のための研究と、飼育下にある霊長類の福祉の増進のための研究も推進する。そのために、欧米のパートナー機関および調査地にあたるアジア・アフリカのパートナー機関との密接な連携のもと以下の3つのプログラムを実施する。(1)若手研究者が欧米のパートナー機関に滞在し、そこに在籍する著名な研究者の指導を受けつつ、様々な共同研究を行う「研究機関交流教育プログラム」、(2)若手研究者が、欧米パートナー機関および現地パートナー機関の研究者たちと共同して、野外研究を行う「共同野外調査プログラム」、そして(3)本事業の研究成果を共有し、さらに秀でた成果をあげている世界の研究者を集めてその方法論と成果を学ぶために、国際ワークショップを日本と現地で交互に開催する「隔年国際ワークショップ」。このプログラムの実施を通して、海外を舞台として活躍できる次世代の若手研究者を育成することが本事業の主たる目的である。

【協力機関】

なし

【海外パートナー機関の名前・専攻等名及び所在地】

マックスプランク進化人類学研究所	比較認知発達部門	【ドイツ・ライプチヒ】
ハーバード大学	人類学部	【アメリカ合衆国・ケンブリッジ】
ケンブリッジ大学	生物人類学部	【連合王国・ケンブリッジ】
認知科学工学研究所		【イタリア・ローマ】
エコル・ノルマル・シュペリユール		【フランス・パリ】
ボツソウ環境研究所		【ギニア共和国・ボツソウ】
釜山大学	理学部	【大韓民国・釜山】
ヤンゴン大学		【ミャンマー・ヤンゴン】
ラオス国立ナショナル大学	理学部	【ラオス・ヴィエンチャン】
サイゴン動植物園		【ベトナム共和国・サイゴン】
ポゴール農科大学	霊長類研究センター	【インドネシア・ポゴール】
アンダラス大学	理学部生物学科	【インドネシア・パダン】
チュラロンコン大学		【タイ・バンコク】
マレーシア大学サバ校		【マレーシア・コタキナバル】
広西師範大学		【中華人民共和国・桂林】
ブガンド保健大学	解剖学組織学教室	【タンザニア・ムワンザ】
ナイロビ博物館		【ケニア・ナイロビ】
生態森林研究センター		【コンゴ民主共和国・マバリ】
ムバララ科学技術大学		【ウガンダ共和国・ムバララ】



本事業に関する問い合わせ先 (住所・職・氏名・電話・FAX・メールアドレス等)
愛知県犬山市官林 41-2 京都大学霊長類研究所・専門職員・新野 正人
TEL:0568-63-0513 FAX:0568-63-0085 E-mail:kenkyu_josei@pri.kyoto-u.ac.jp